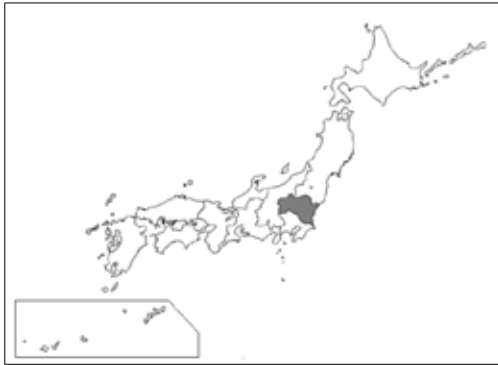


(3) 北 関 東



北関東地域では、景気は一部に弱さがみられるものの、緩やかな回復基調が続いている。

- ・ 鉱工業生産はおおむね横ばいとなっている。
- ・ 個人消費は持ち直している。
- ・ 雇用情勢は着実に改善している。

(注) 下線を付した箇所は、前回からの変更のあった箇所を表す(は上方に変更、 は下方に変更)

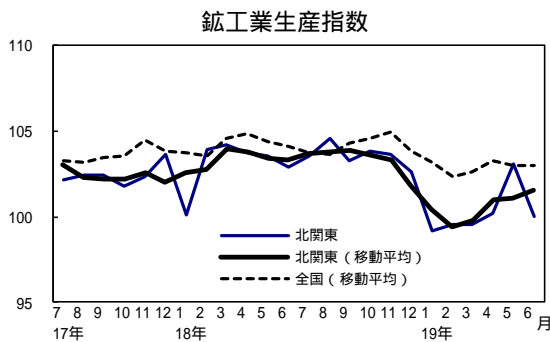
前回からの主要変更点

	前回 (令和元年5月)	今回 (令和元年8月)	
鉱工業生産	弱含み	おおむね横ばい	

1. 鉱工業生産の動向

鉱工業生産はおおむね横ばいとなっている。

4 - 6月期には、「石油・石炭製品、化学、プラ製品」は、増加した。「輸送機械」は、増加した。「汎・生産・業務用機械」は、増加した。「電子デバ、電気・情報通信」は、減少した。



- (備考) 1. 2015年=100、季節調整値。北関東の最新月は速報値。
 2. 全国及び北関東の太線は中心3か月移動平均、直近月は2か月平均。
 3. 北関東は内閣府にて算出。

域内主要業種の動向(季節調整値、前期(月)比) (%)

	付加価値 ウェイト	生産				
		1 - 3 月期	4 - 6 月期	4月	5月	6月
石油・石炭、化学、プラ製品	20.1	3.6	1.0	2.4	2.0	2.1
輸送機械	18.3	6.6	6.7	5.0	7.4	11.8
汎・生産・業務用機械	17.1	6.6	1.8	1.0	5.0	2.9
食料品・たばこ	12.1	0.4	-	1.8	1.0	-
電子デバ、電気・情報通信	11.2	3.3	0.9	0.6	1.3	3.0
鉱工業	100.0	3.8	1.7	0.7	2.9	3.0

- (備考) 1. 地域における付加価値ウェイトの高い5業種。
 2. 4 - 6月期、6月は速報値。速報値において、化学は医薬品を除いたもの、食料品・たばこは公表されていない。

2. 個人消費の動向

個人消費は持ち直している。

(1) 地域別消費総合指数 (RDEI (消費))

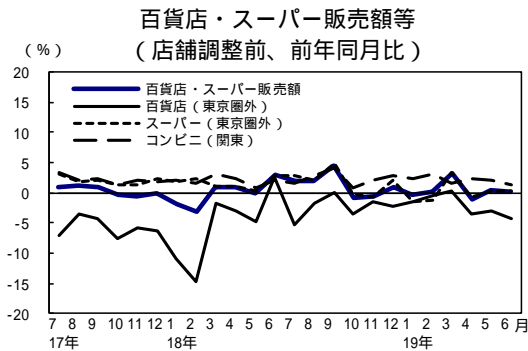
4月は前月比0.2%減、5月は同1.0%増、6月は同0.7%減となった。

(2) 百貨店・スーパー販売額

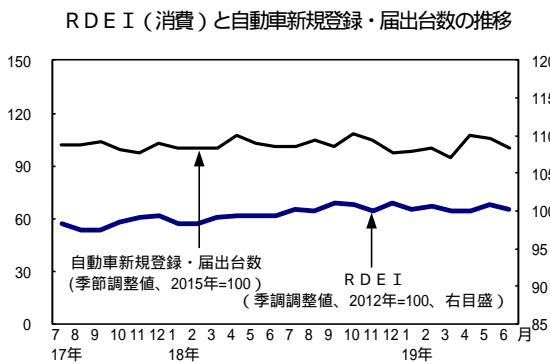
4月は、衣料品、身の回り品が低調であったことから前年を下回った。

5月は、飲食料品が好調であったことから、前年を上回った。

6月は、飲食料品が好調であったことから、前年を上回った。



	2019年4-6月	2019年4月	5月	6月
RDEI (消費*1)	0.0	0.2	1.0	0.7
百貨店・スーパー(*2)	0.2	1.2	0.4	0.1
百貨店(*3)	3.6	3.6	3.0	4.3
スーパー(*3)	0.0	0.8	0.3	0.3
コンビニ(*3)	1.9	2.3	2.1	1.3
乗用車(*4)	0.6	1.8	3.0	2.3
(季節調整値)(*4)	6.8	13.7	2.0	4.8



(備考) 1. 季節調整済前期(月)比(%)

2. 店舗調整前、前年同期(月)比

百貨店・スーパーは内閣府にて算出。

3. 店舗調整前、前年同期(月)比

百貨店、スーパーは、関東経済産業局の東京圏外(茨城、栃木、群馬、新潟、山梨、長野、静岡)の値。

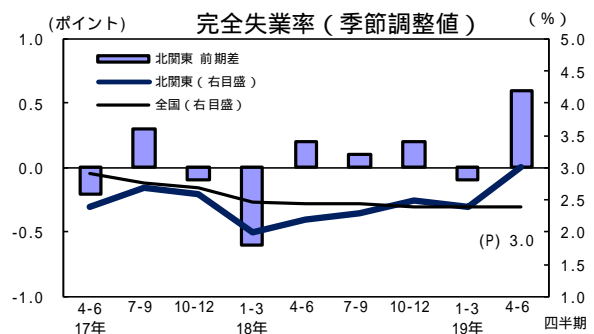
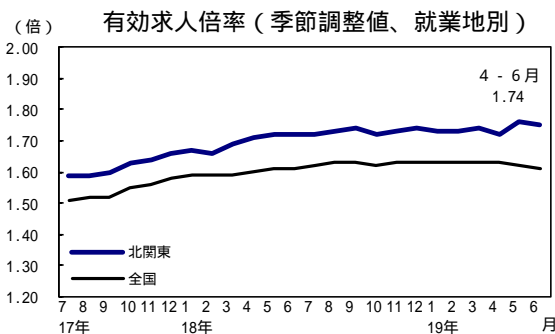
コンビニは、経済産業省の関東(茨城、栃木、群馬、埼玉、千葉、東京、神奈川、新潟、山梨、長野、静岡)の値。

4. 乗用車は、新規登録・届出台数(上段は前年同期(月)比(%))

3. 雇用情勢

雇用情勢は着実に改善している。

有効求人倍率はおおむね横ばいとなっている。完全失業率は前期を上回っている。



(備考) 1. 内閣府にて算出、季節調整。季節性が認められなかったことから原数値と同じ。

2. 4-6月期の値は暫定値。